

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



プレスリリース 2023年7月

ブシュロン 2023年 ハイジュエリーコレクション

“MORE IS MORE”

ブシュロンは、新作ハイジュエリーコレクション“More is More”を発表いたします。コレクションの構想が始まったのは、ロックダウンの最中の2020年のこと。世界中が閉塞感や先が見えない未来に対して不安を抱え、明るく楽しい気持ちを忘れてしまっていたとき、ブシュロンのクリエイティブディレクターのクレール・ショワンヌはこの突然の出来事に対応していくための答えをハイジュエリーデザインの中を探しました。そして、大胆な発想で革新的な今回のハイジュエリーコレクションを提案しました。サイズやフォルム、素材の制約から解放され、ハイジュエリー制作の慣習までも変えるクリエイションは、悲観的な世の中に対してオプティミスティックなムードを想起させる幸福感あふれるコレクションとなりました。

クリエイティブディレクターの強い思いと情熱から生まれたハイジュエリーコレクションは、ベーシックなシルエット、シンプルなデザインに対して、ポップなカラー使い、贅沢なほどにオーバーサイズなボリュームでユニークな表情に仕上げられました。

まるで10代の頃のダイアリーのように、クレールのムードボードはポップな色彩、明るい表情、幾何学的なデザイン、モチーフで埋め尽くされています。球体、立方体などの図形。挑発的な表情や満面の笑みのモデル。幼き日に影響を受けた思い出のデザインから、新しいハイジュエリーコレクションの輪郭が浮かび上がります。このコレクションは、ポップアート、メンフィスなど、当時のルールや慣例から解放された視点を持ったアートからインスピレーションを得ています。現実世界にユーモアや彩りを加え、楽しさや喜びの溢れる世界へと変貌させるようなエネルギーを持つクリエイションです。重力に逆らうかのようなビッグサイズのリボンのジュエリーや、肩を覆い尽くすほど大胆なネックレス。まるでスケッチ画のようにフラットなジュエリーなど、ハイジュエリーの既成概念を押し広げる作品が登場します。

新しい素材、完璧なフォルム、宝石のセッティングなどあらゆる点において妥協を許さず、チャレンジを続けるデザインスタジオとアトリエによって、そのすべてが可能になるのです。特に、ブシュロンはジュエリー制作において、感情を揺り動かし、喜びや感動を与えることに独自の価値を見出し、それを追求しています。メゾンが165年にわたって継承してきた価値観は、メゾンの生み出すジュエリーによって表現すべき最も重要なことであると考えます。

新作ハイジュエリーコレクション“More is More”の類まれなクリエイションは、技術性、実験性、機械加工によってユニークさを表現した真のハイジュエリーです。素材、宝石、色彩を組み合わせることで、大胆さと独自性を際立たせます。ハイジュエリーの価値を最大限に尊重しながら、その枠を超えること、そしてプレシャス（貴重であり、価値あるもの）の意味を問いかけることで、これらのクリエイションは、私たちをさらに新しい領域に導きます。無垢なるものがあらゆる制約から解放され、美しさや魅惑を受け入れ、洗練された爽快な世界です。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



TIE THE KNOT



大胆な夢の発想

髪にはビッグサイズのリボンを：ブラックとホワイトで表現されるストライプの裏は鮮やかなレッドカラー。創業者のフレデリック・ブシュロンは繊維業を営むファミリーに生まれたため、ブシュロンのジュエリーの中でも多く登場するグログランのコードを取り入れたリボンモチーフ。布地のようにしなやかで、コミックに出てくるかのように象徴的なフォルムのビッグサイズのリボンは非常に軽く仕上げられています。

超軽量化を追求

クレールのピュアな夢を詩的に表現したクリエイション。ホワイトゴールドにダイヤモンドをあしらったストライプのリボンを約30cmにサイズアップしたハイジュエリーピースです。まるでトロンピユ（だまし絵）のように、遊び心溢れるヘアジュエリーはわずか96gに超軽量化を実現しました。驚き溢れるファンタジーの世界が現実のものに。

技術面での挑戦

リボンの赤い部分には、眼鏡メーカーで多用されるバイオアセテートを使用し、軽量化と鮮やかなレッドカラーを実現しました。バイオアセテートは、木材ペーストと綿繊維から作られ、環境に配慮した生産方法により、軽さと耐久性を兼ね備えています。

ハイジュエリーの世界で唯一、初めてマグネシウムを金属素材として採用することは、作品のための技術開発力を裏付けています。リボンのブラック部分に使用したマグネシウムは、アルミニウムのおよそ30%の軽さで、ゴールドの1/10の密度。この新しい素材をハイジュエリーに使用するためには、職人たちの俊敏な手作業と、今まで以上の能力が要求されました。繊細な弓のようなリボンの形状を表現するために、まず形を整え、カタフォーシス処理で黒くコーティングした後、セッティングされました。

この素材は、セッティングの際に爪が折れてしまうと再度溶接することが不可能なため、難しい課題への挑戦でした。このジュエリーを構成する200ものパーツは、個々の場所で丁寧に仕上げられ、耐久性と柔軟性を持ち合わせる構造に組み立てられました。レリーフの輪郭に沿ってフェルトペンでラインを引いたようなブラックの縁取りは、まるでコミックのようなユーモアと驚きを与えます。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



THIS IS NOT A RING / THIS IS NOT A SCRUNCHIE



大胆な夢の発想

シンプルなフォルム、鮮やかなカラー、そして新しい視点によってジュエリーはアート作品となります。球体、立方体、メンフィスデザインとして象徴的なストライプ、ポップで幾何学的な作品は、70年代のアートギャラリーから抜け出してきたようなクリエイティビティです。

視覚的なトリック

単なるリングでもヘアアクセサリーでもなく、アート作品としてのジュエリー。これらの小さなクリエイションは、職人たちの技術を結集させた作品であり、予想を超える革新的なジュエリー制作を体現するものです。モダンアートとハイジュエリーが融合し、指先や髪に着用した時に明るさと喜びをもたらします。

技術的な挑戦

グラフィカルでとても軽量化された6つのリング。そのうちの、4作品はユニークで刺激的なまでのボリューム感とバランスを持ち合わせます。また、従来のハイジュエリーの枠を超える幾何学的なフォルムのヘアアクセサリーもその独自性を表す作品です。

ブラック、ホワイト、レッド、ブルーのラッカーで仕上げられた空気のような軽さを実現したリング。イエローダイヤモンドとイエローサファイアの球体、チタンで縁取りされたダイヤモンドとホワイトゴールドのキューブ、レジン（樹脂）のリングなど、どのパーツもポップで驚き溢れる素材使いです。また、イタリア製のムラーノガラスを使ったヒプノティックブルーのキューブは、透明なガラスに精緻な彫刻を施し、目の錯覚を起こさせます。

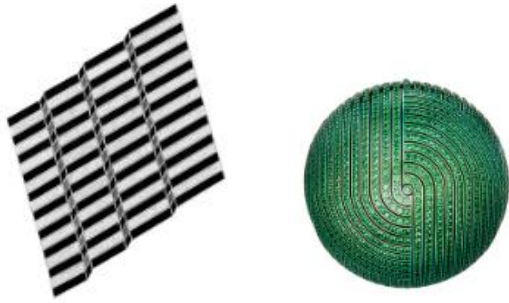
ダブルフィンガーリングの主演は、ロッククリスタルでカバーされた球体です。球体内部は表面にはイエローダイヤモンドが、さらにその内側の中心部にはイエローサファイアが埋め尽くされています。球体の隣には、ブラックチタンで縁取りされたダイヤモンドのキューブをセットし、優れた技巧と視覚的な驚きをもたらす幾何学モチーフの組み合わせが、アート作品としての完成度を高める作品です。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



IN THE POCKET + AN APPLE A DAY



大胆な夢の発想

全く新しいパリュール。ハイジュエリーピースのポケットは、どのような装いにも合わせて着用することができます。完璧な球体の正体はプレスレット。このジュエリーセットを完成させる手元のアクセントとなります。

ハイジュエリーはスタイリッシュであるべき

通常は、ネックレス、イヤリング、プレスレットで構成されるパリュールの概念を覆したセット。ポケットに手を入れるという仕草に着目し、異なるパターンとカラーのコントラストを持つそれぞれのクリエイションが一つの作品となるような一体感をもたらします。今までのパリュールの在り方に一石を投じる斬新な発想から生まれたハイジュエリーです。

技術的な挑戦

ポケットのメタルに布地のしなやかさ表現することは、アトリエに課された最も大きな課題の一つでした。この美しくプレシヤスなポケットは複雑な多層構造をしています。3Dプリント技術などを用いたチタン製のパーツをストレッチ素材の布地に重ね、表面にはダイヤモンドとオニキスを、裏面にはマグネットを重ねました。衣服の裏側からマグネットでポケットを固定することで、この斬新なハイジュエリーを装いの一部として楽しむことができます。

また、ツァボライトとブラックラッカーで構成される球体のプレスレットはマルチウェアジュエリーです。まるでオブジェのような球体はカフプレスレットと2つのリングパーツに分かれます。4つの要素を持つこのハイジュエリー作品は、メゾンに受け継がれるサヴォワール フェールとクリエイティビティを体現しています。グリーンの球体の土台はチタンにアノダイズ処理を施し、ツァボライトのカラーとマッチする美しいカラーを実現しました。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



PULL ME



大胆な夢の発想

カジュアルなフーディーの紐にプレシャスな素材を用いてハイジュエリー仕様にした斬新なアイデア。ジャック ドゥ ブシュロンのデザインからインスピレーションを得たモチーフとフーディーのコード。日常の装いがラグジュアリーでコンテンポラリーなルックに様変わります。

シックなストリートスタイル

フーディーから放たれる大胆なハイジュエリーの輝き。静かなサロンや華やかなパーティーの席を離れ、新しい視点で再定義されたハイジュエリーは、マスキュリンな強さと大胆さを体現する革新的な作品です。

技術的な挑戦

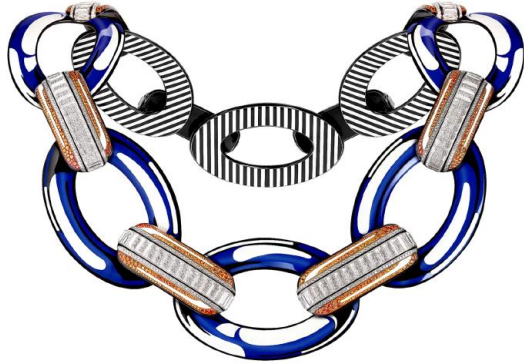
長さ40cmのジュエリーは、イエローゴールドのコードの上部のパーツをブローチのようにフードの土台に固定します。モチーフはビッグサイズのロングイヤリング、さらに上部のダイヤモンドのパーツはスタッズイヤリングにも姿を変えるデザインです。遊び心のある作品をパートナーと二人で共有することも、自由なスタイルで身につけることができる、マルチウェアジュエリーです。シトリン、ダイヤモンド、ブルーラッカー、オニキス、カシロン、イエローゴールド、チタン、アルミニウムなど、希少な宝石と技術的なチャレンジのある素材を組み合わせることで、この斬新なハイジュエリーのアイデアを実現しました。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



JUST AN ILLUSION



大胆な夢の発想

胸元全体を覆うほどの、驚異的なボリュームのリンクネックレス。まさにトロンブイユ（だまし絵）のようなフラットなハイジュエリー作品を通して、コミックのような世界観のユニークな美学を表現しています。

錯覚の魅力

反対色であるオレンジとブルーのカラーが目を引き、オーバーサイズのネックレス。美しいリンクのサイズを大きく引き伸ばし、贅沢で遊び心に溢れる斬新なハイジュエリー作品です。

技術的な挑戦

ベースとなるチタンは、ネックレスのボリュームに対して、期待以上の軽量化に成功しました。ブルー、ホワイト、ブラックのセラミックは、レーザーでカラーを塗布することで、色と色の境目をなくすことを実現しました。

この巨大なチェーンリンクは、フラットな構造でありながら立体的に見えるような仕上げを施し、チタンの土台の裏面にはストライプのアクセントが隠れています。

オレンジのチェーンリンクには、ロッククリスタルを敷き詰めた中央のラインを挟むように、オレンジ スペサタイト ガーネットとダイヤモンドをセットしています。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



PEARL SOAP BUBBLE



大胆な夢の発想

目を引くほどのビッグサイズのフラットパールネックレスと、ダブルフィンガーリングはパールジュエリーのイメージを覆すような斬新なハイジュエリー作品です。

自然へのオマージュ

シャボン玉のように大きくて目を引くパール。一見すると球体のように見えるモチーフは実はフラットな構造で、目の錯覚を利用したハイジュエリー作品は見る人々に驚きとユーモアを与えます。創業時より自然からデザインインスピレーションを得て、地球が生み出す天然の資源をジュエリー制作に用いてきたメゾン。上質なパールとダイヤモンドが用いられたブシュロンのアーカイブ作品からインスピレーションを得てデザインされたネックレスは、新しい発想で現代的なハイジュエリー作品として蘇りました。

技術的な挑戦

直径5.5cmのビッグサイズのパールモチーフは、自然が織りなす美しい表情を再現するために精巧な構造で作られています。アルミニウムのプレートにマザーオブパールのパウダーをスプレーし、デジタルプリントで陰影をつけることで、自然界のパールを表現しています。

表面には、通常ウォッチのフェイスにしか使用しないサファイアクリスタルをホワイトゴールドの上にセット。わずかな曲線を描く表面の加工を施すことにより、立体感を際立たせ、目の錯覚を起こします。

モチーフをつなぐ部分にはダイヤモンドのチェーンリンクをセットしました。これは創業者であるフレデリック・ブシュロンがデザインしたパールネックレスへのオマージュです。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



ONCE IN A BLUE MOON



大胆な夢の発想

メゾンに継承されるアイコンックなデザインを再解釈し、新しいハイジュエリー作品が生まれました。1879年に誕生したクエスチョンマークネックレスは、クラスプ（留め具）がないことで当時のハイジュエリー作品において革新的な発明であり、誰の助けも借りずに自身でジュエリーを身に着けることができた点において、自由や解放を象徴するクリエイションです。また、ブルータンザナイトのカボションリングは、かつてパルファンのボトルデザインに採用されたアイコンックなフォルムをインスピレーション源として新たな解釈が加えられました。

新たな章へ

ブシュロンは、歴史的にその名声を得た豊かなヘリテイジと、アイコンジュエリーに新たな一章を刻みます。ブシュロンの伝説的な2つの作品が、技巧と希少性、喜びと大胆さを融合させることで、いかに時代を超越した存在であるかを証明します。

技術的な挑戦

クエスチョンマークネックレスの課題は、ブシュロンのアーカイブ作品の象徴的なフラワーのボリュームを再現しながら、極めてフラットに仕上げることでした。

ホワイトゴールドのベースにダイヤモンドと特に希少な5.28カラットのクッションカットのタンザナイトをセットしました。ブルー、ブラック、ホワイトの3色のラッカーで再現されたフラワーモチーフは、アーカイブ作品とは対照的にボリューム感に変化をもたせ、厚みを抑えたフラットに仕上げました。

ユニークな33.15カラットのタンザナイトをセットしたカボションリングのオリジナルデザインは、ブシュロンのパフュームボトルのデザインでした。カボションカットをアレンジし、フラットなフォルムのタンザナイトを、ダイヤモンド、ロッククリスタル、ホワイトゴールドのリングにセットしました。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



SOLVE ME



大胆な夢の発想

80年代に流行したルービックキューブを再構築し、ハイジュエリーに仕立てたネックレス。遊び心と審美的な魅力が一体となった作品は、象徴的なオブジェの幾何学模様を見事にジュエリーに昇華させました。

首元にパズルを

ダイヤモンドやカラーストーンを配したキューブが連なり、クラシックなネックレスのような曲線を首元に描きます。幼いころの楽しい記憶や幸福感を呼び起こします。

技術的な挑戦

様々な素材やカラーで構成されたキューブのジュエリー。見た目の印象に反して、軽さとしなやかさを実現しました。グレースピネル、ピンクサファイア、ダイヤモンドを交互に配した20個の希少性の高いキューブのネックレスは、遊び心溢れる、おもちゃのようなハイジュエリーネックレスです。

ルービックキューブのように、全ての面は異なるカラーで仕上げられています。このユニークなクリエイションの制作は、技術的にも芸術的にも素晴らしい挑戦でした。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



DO NOT IRON



大胆な夢の発想

クレール・ショワヌの高校時代の思い出のアイテムだったワッペンをハイジュエリーで再現したクリエイション。お気に入りのアウターに着けたり、形や色や、ストーリーで選んだり。ファッションのように遊んで、自分だけのスタイルを作り、個性を表現することができる作品です。ワッペンの薄さもハイジュエリーのテクニックで再現したブローチです。

プレシャスなワッペン

アイロンで布地に付けるワッペンのように楽しく、ハイジュエリーのブローチのようにプレシャス。ハイジュエリーコレクション“More is More”のコンセプトを象徴するクリエイションです。

ブシュロン ヴァンドーム広場本店に次ぐ世界最大規模のブシュロン銀座本店のリニューアルオープンを記念して、北斎の波、アイコンキャットのウラジミール、アジサイの3つのブローチは、日本で初めて披露されます。また、同じブローチのセットには、ジャック ドゥ ブシュロンのモチーフ、パンジー、セミの3種も展開します。

技術的な挑戦

伝統的なブローチの型をベースに新しいジュエリーを創りました。まるで宝石で刺繍を施したようなフラワーは、非常に精巧に仕上げられています。本物のワッペンの感覚を再現するため、細かな糸のねじれまで見事に再現したハイジュエリーブローチです。

パンジーには、本物の花びらに近づけて再現するためにゴールドで象ったモチーフに葉脈を表現しました。オープンワークのゴールドをベースに、マザーオブパール、ロードライト ガーネット、ピンククォーツ、アメシストなどが重ねられ、センターにはイエローサファイアをセットしました。

セミのブローチを構成するストーンなどの素材は軽やかでしなやか。まるで薄いフェルト生地できているかのように繊細な印象を与える、錯覚を起こします。広がる羽根にはグリーンのカリソプレーズを中心に、イエローサファイアとダイヤモンドで装飾され、ブラックラッカーで縁取られています。ボディのセンターにはパラバタイプトルマリンがセットされ、動植物の描写をハイジュエリーで表現します。

BOUCHERON

PARIS DEPUIS 1858



I GOT YOUR BACK



大胆な夢の発想

“More is More”のジュエリーのパターンやコードを集めたエレガントでグラフィカルなヘアジュエリーです。ダイヤモンドやラッカーで仕上げた外側の装飾だけでなく、内側までも豊かな技巧が施されています。

プレシャスの表現は控えめに

誰かとの出会いを想像してみてください。去り際にその人物は振り返り、あなたの魅惑的な後ろ姿を見つめます。香水が香りを纏う人を追いかけるように、このヘアジュエリーも人を引き付ける魔法のような魅力を持ちます。

技術的な挑戦

円柱型のヘアジュエリーを彩るブラックとホワイトのラインは、平行線と遠近法により視覚的な錯覚を生み出します。レッドとターコイズブルーのコントラストが美しさを際立たせます。

ブラック、ブルー、レッドのラッカーにダイヤモンドを敷き詰めた贅沢なヘアジュエリーは、表面だけでなく、見えない部分にまでラッカーの細工を施しています。主な素材は、ホワイトゴールドの他、ダイヤモンドとラッカーです。

1858年にフレデリック・ブシュロンが創業し、一族によって4世代にわたり自由な精神とスタイルが継承されてきたブシュロン。パリ・ヴァンドーム広場にブティックを開いた最初のハイジュエラーとして、ブシュロンは一流のハイジュエリーと高級時計を象徴するメゾンとしての地位を確立してきました。自由で大胆な精神を持つブシュロンの唯一無二のスタイルは、世代を超えて受け継がれ、160年以上の歴史を誇ります。現在、ブシュロンは世界各国で73以上のブティックを展開し、国際的なラグジュアリーグループであるケリングに属しています。